

# ごみ収集方法についての アンケート調査の結果

平成22年3月

環境部 廃棄物対策課

## 【 ごみ収集方法についてのアンケート調査概要 】

目 的	今後の廃棄物行政の基礎資料とする
対 象 者	無作為抽出による
対 象 者 数	1, 0 0 0 名
調 査 方 法	郵便調査法、無記名アンケート質問用紙による回答、郵便により返送
調 査 期 間	平成21年11月12日（木）から11月25日（水）まで
質 問 数	1 2 問

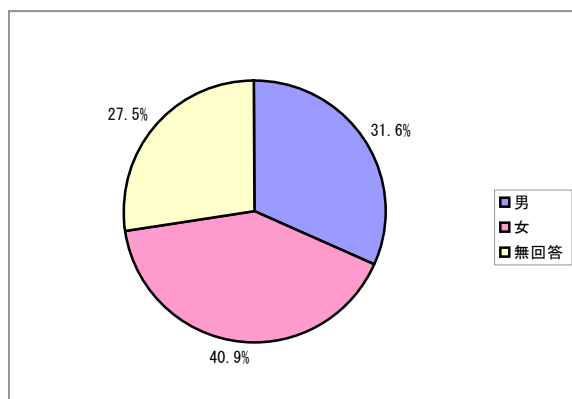
## 【 回答状況 】

対 象 者 数	1,000 名
回 答 数	560 名
返 戻	5 名
無効回答数	0 名
回 収 率	56.3 %（到着数に対して）

## 【A】 性別

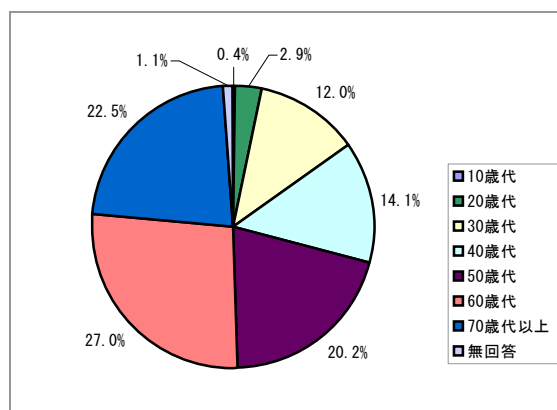
回答項目	回答数	割合
男	177	31.6%
女	229	40.9%
無回答	154	27.5%
合計	560	100.0%

回答は女性の方が多く結果となっています。  
無回答のケースは、家族と相談しながら記入されたため、性別の記入できなかったものと考えられます。



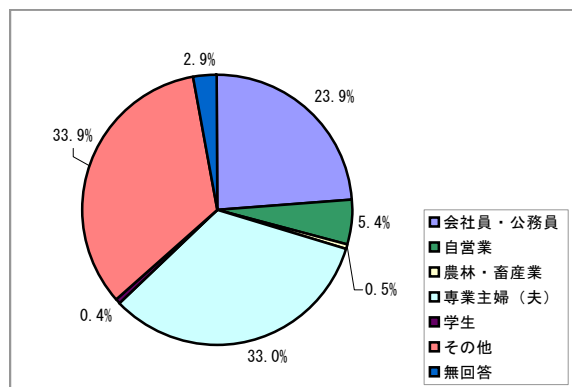
## 【B】 年齢

回答項目	回答数	割合
10歳代	2	0.4%
20歳代	16	2.9%
30歳代	67	12.0%
40歳代	79	14.1%
50歳代	113	20.2%
60歳代	151	27.0%
70歳代以上	126	22.5%
無回答	6	1.1%
合計	560	100.0%



## 【C】 職業

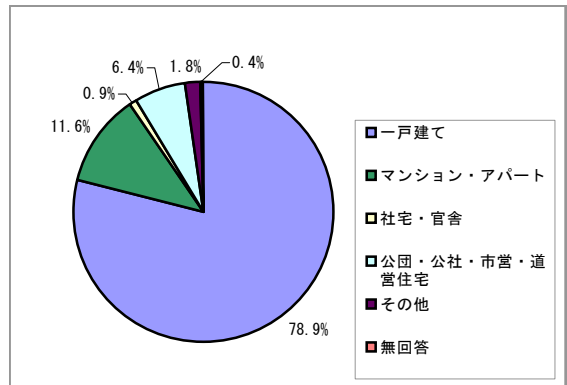
回答項目	回答数	割合
会社員・公務員	134	23.9%
自営業	30	5.4%
農林・畜産業	3	0.5%
専業主婦（夫）	185	33.0%
学生	2	0.4%
その他	190	33.9%
無回答	16	2.9%
合計	560	100.0%



その他の回答が最も多く、次に専業主婦（夫）、会社員・公務員が多い結果となった。  
その他としては、無職、年金生活者などとなっています。

【D】 居住形態

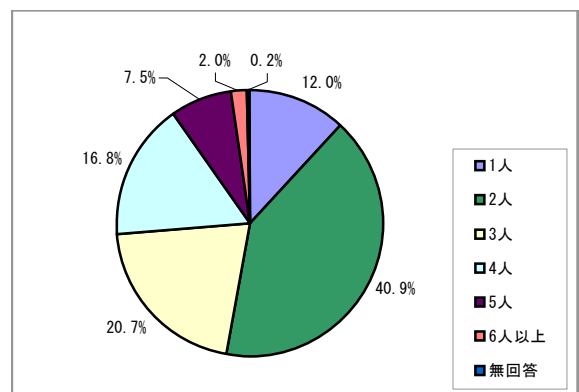
回答項目	回答数	割合
一戸建て	442	78.9%
マンション・アパート	65	11.6%
社宅・官舎	5	0.9%
公団・公社・市営・道営住宅	36	6.4%
その他	10	1.8%
無回答	2	0.4%
合計	560	100.0%



一戸建ての回答が最も多い結果となっています。

【E】 世帯人員

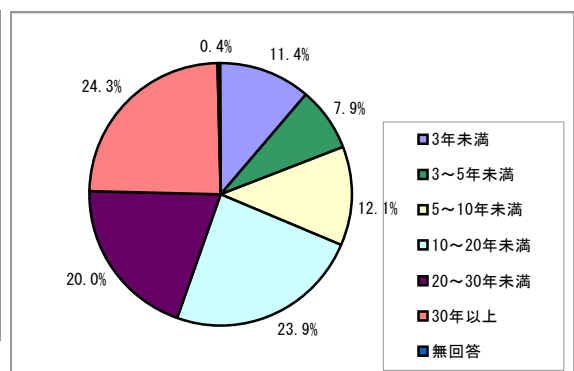
回答項目	回答数	割合
1人	67	12.0%
2人	229	40.9%
3人	116	20.7%
4人	94	16.8%
5人	42	7.5%
6人以上	11	2.0%
無回答	1	0.2%
合計	560	100.0%



世帯人員では2人の回答が最も多い結果となっています。

【F】 居住年数

回答項目	回答数	割合
3年未満	64	11.4%
3～5年未満	44	7.9%
5～10年未満	68	12.1%
10～20年未満	134	23.9%
20～30年未満	112	20.0%
30年以上	136	24.3%
無回答	2	0.4%
合計	560	100.0%

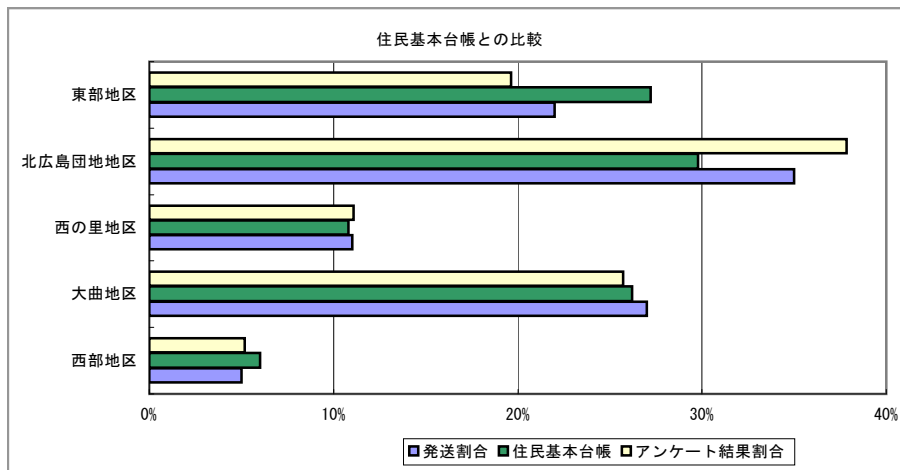
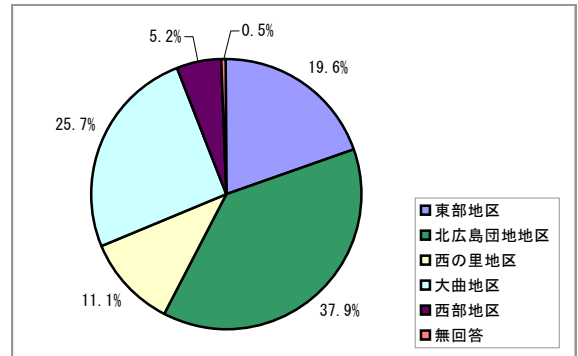


居住年数は30年以上が最も多く、全体的に10年以上の居住年数の回答が結果となっています。

【G】 居住地域

回答項目	回答数	割合	発送割合	住民基本台帳
東部地区	110	19.6%	22.0%	27.2%
北広島団地地区	212	37.9%	35.0%	29.8%
西の里地区	62	11.1%	11.0%	10.8%
大曲地区	144	25.7%	27.0%	26.2%
西部地区	29	5.2%	5.0%	6.0%
無回答	3	0.5%	—	—
合計	560	100.0%	100.0%	100.0%

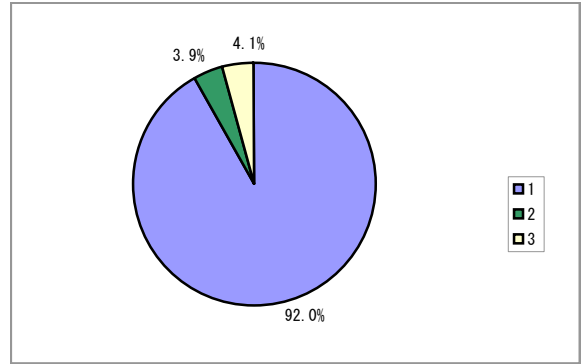
北広島団地地区からの回答数が多くなっていますが、アンケートの送付割合や平成21年10月の住民基本台帳の結果による各地域の世帯割合と比較しても極端な差はない結果となっています。



【問1】 ごみの分別の際に「クリーンタウンきたひろしま」を活用していますか。

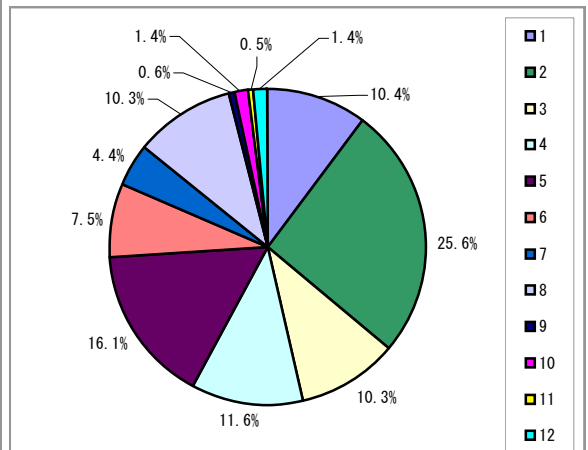
No.	回答項目	回答数	割合
1	はい	515	92.0%
2	いいえ	22	3.9%
3	無回答	23	4.1%
合計		560	100.0%

「クリーンタウンきたひろしま」は活用されていることが分かる結果となった。



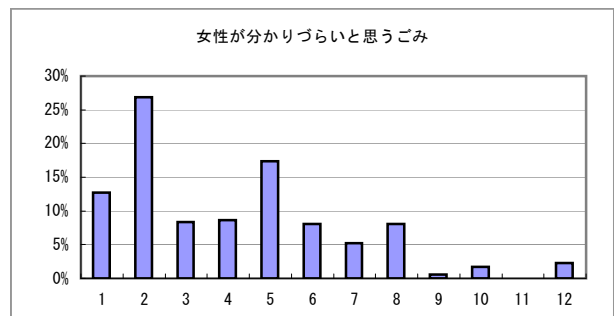
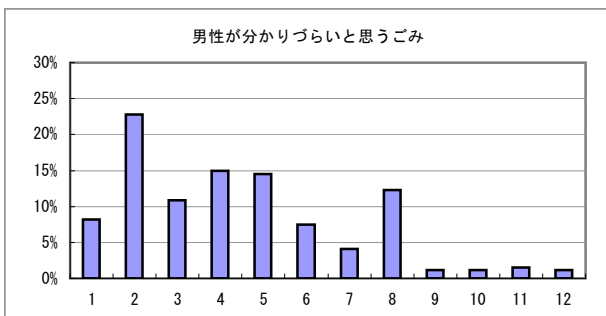
【問2】 ごみの分別で分かりづらいごみの種類は何ですか。ごみの種類を選んでください（複数回答可）

No.	回答項目	回答数	割合
1	普通ごみ	81	10.4%
2	破碎しないごみ	199	25.6%
3	危険ごみ	80	10.3%
4	粗大ごみ	90	11.6%
5	プラスチック製容器包装ごみ	125	16.1%
6	紙製容器包装ごみ	58	7.5%
7	びん・缶・ペットボトル	34	4.4%
8	有害ごみ	80	10.3%
9	段ボール	5	0.6%
10	紙パック	11	1.4%
11	新聞紙	4	0.5%
12	雑誌	11	1.4%
合計		778	100.0%



分かりづらいごみの種類として①破碎しないごみ、②プラスチック製容器包装ごみ、③粗大ごみ、となっています。分かりづらい理由としては、「破碎しないごみ」は「分別が複雑」「普通ごみとの区分が分かりづらい」などで、「プラスチック製容器包装ごみ」は「汚れはどこまでいいのかわからない」「発泡スチロール」などで、「粗大ごみ」は「粗大ごみの大きさが分からない」「面倒」などとなっています。

【男女別で見る分かりづらいごみの種類】

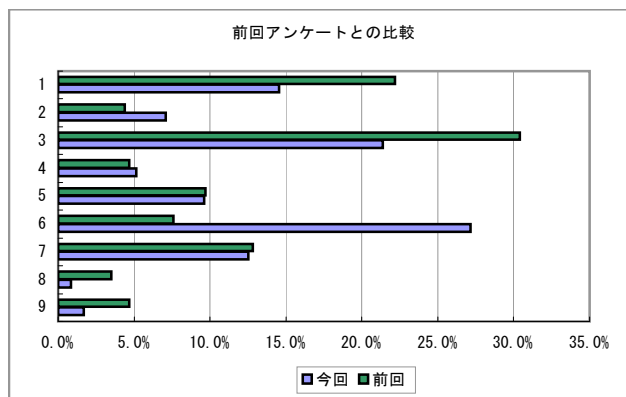
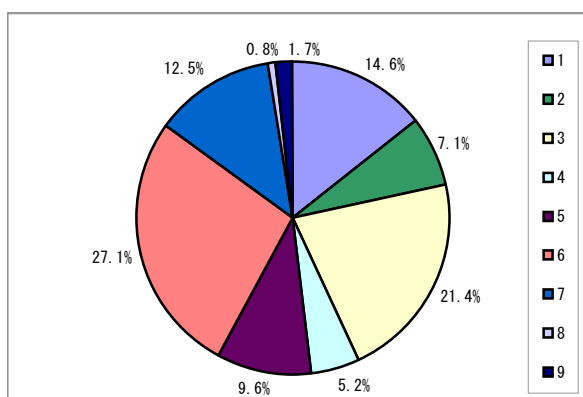


分かりづらいごみの種類を男女別に見ると、男女ともに「破碎しないごみ」が一番分かりづらいとの結果となっており、男性で22.8%、女性で26.9%。次いで男性は「粗大ごみ（14.9%）」「プラスチック製容器包装ごみ（14.6%）」で、女性は「プラスチック製容器包装ごみ（17.3%）」「普通ごみ（12.7%）」となっています。

【問3】 ごみとなるものを減らすためにどのような工夫をしていますか。（複数回答可）

No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	不要なものを買わないように心がけている	257	14.6%	22.2%
2	使い捨ての商品をなるべく買わないようにしている	125	7.1%	4.4%
3	詰替え製品を買うようにしている	377	21.4%	30.4%
4	壊れにくく、長く使えるものを選ぶようにしている	91	5.2%	4.7%
5	食べ残しをできるだけ少なくなるようにしている	170	9.6%	9.7%
6	買物の際、買物袋を持参するようにしている	479	27.1%	7.6%
7	買物の際、過剰包装は断わるようにしている	221	12.5%	12.8%
8	特に工夫していない	15	0.8%	3.5%
9	その他	30	1.7%	4.7%
合計		1765	100.0%	100.0%

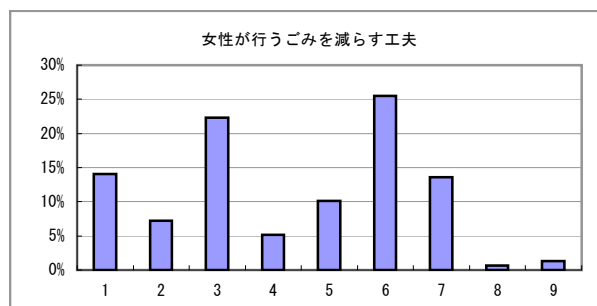
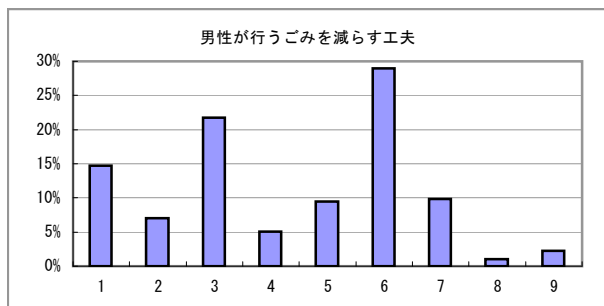
※前回アンケートより回答項目を減らしているため減らした分はその他に含めています。



前回アンケートでは「詰替え製品を買うようにしている」が最も多い回答でしたが、今回のアンケートでは「買物の際、買物袋を持参するようにしている」が最も多い回答で、「詰替え製品を買うようにしている」は2番目に多い回答になりました。これは、市内大手スーパーのレジ袋の有料化が起因しているものと思われます。

その他としては、「スーパーで包装を全て捨ててくる」「必要な物しか買わない」「生ごみは畑で堆肥化している」「コンポストを利用している」など問5と回答が重複するものもありました。

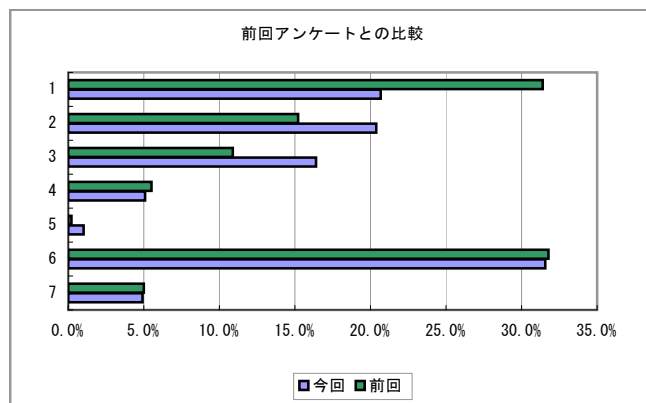
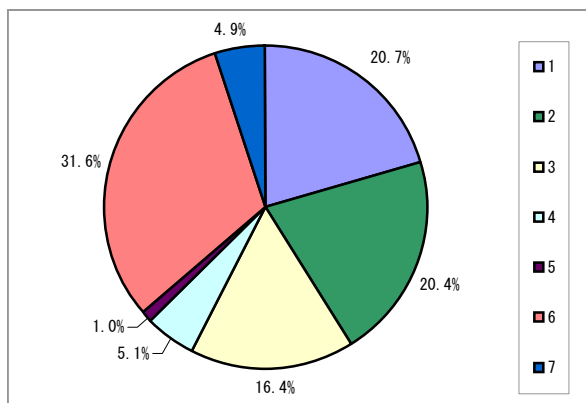
【男女別で見るごみを減らす工夫】



ごみを減らす工夫を男女別で見ると、男女ともに「買物の際、買物袋を持参するようにしている」が最も多く男性で29.0%、女性で25.5%。「買物の際、過剰包装は断わるようにしている」との回答は女性の方が男性より3.7ポイント割合が高くなっています。

【問4】 まだ利用できるがご家庭で不要になった電化製品、家具、衣類などの不用品はどのようにしていますか。（複数回答可）

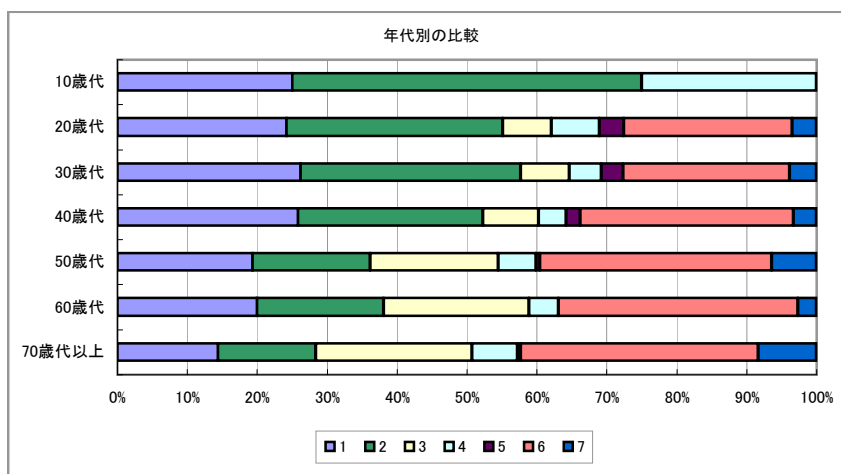
No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	知人などに譲る	207	20.7%	31.4%
2	リサイクルショップ、中古販売店などを利用する	204	20.4%	15.2%
3	購入店で引き取ってもらう	164	16.4%	10.9%
4	フリーマーケットに出す	51	5.1%	5.5%
5	インターネットオークションに出す	10	1.0%	0.2%
6	ごみとして出す	316	31.6%	31.8%
7	その他	49	4.9%	5.0%
合計		1001	100.0%	100.0%



前回アンケートと同様に「ごみとして出す」が最も多い結果となっているが、前回アンケートで次が多かった「知人などに譲る」が減り、「リサイクルショップ、中古販売店を利用する」「購入店で引き取ってもらう」が増加しています。

その他としては、「布は市のリサイクルに出している」「最後まで使う」などの回答がありました。

#### 【年代別に見る不用品の処分】



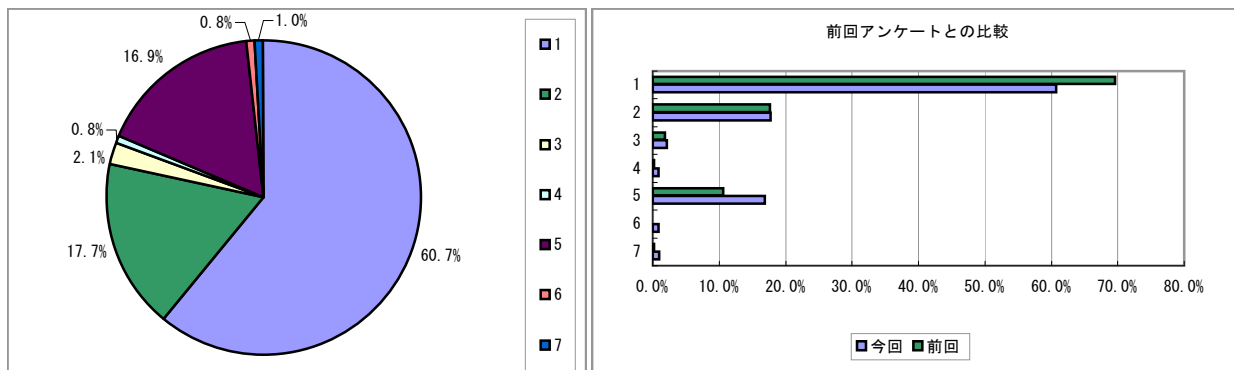
10歳代は回答数が少ないため割合の比較は難しいが、20歳代・30歳代では「リサイクルショップ・中古販売店などを利用する」が最も多く、「知人に譲る」「ごみとして出す」が次いで多い結果となっています。また、40歳以上になると「ごみとして出す」が最も多く、「購入店で引き取ってもらう」割合も高くなってきています。



【問5】 ご家庭で「生ごみ」はどのように処理していますか。（複数回答可）

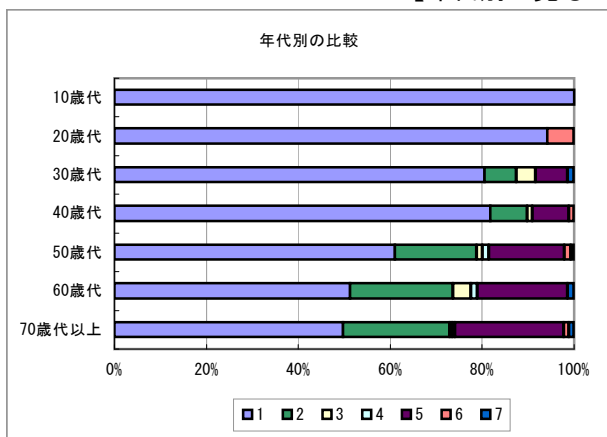
No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	普通ごみとして出している	439	60.7%	69.6%
2	生ごみ堆肥化容器を利用している	128	17.7%	17.6%
3	電動生ごみ処理機を利用している	15	2.1%	1.8%
4	段ボール箱を利用した堆肥化を行っている	6	0.8%	0.2%
5	畑で堆肥化を行っている	122	16.9%	10.6%
6	ペットのえさにしている	6	0.8%	0.0%
7	その他	7	1.0%	0.2%
	合計	723	100.0%	100.0%

※前回アンケートより回答項目を減らしているため減らした分は2,3に含めています。



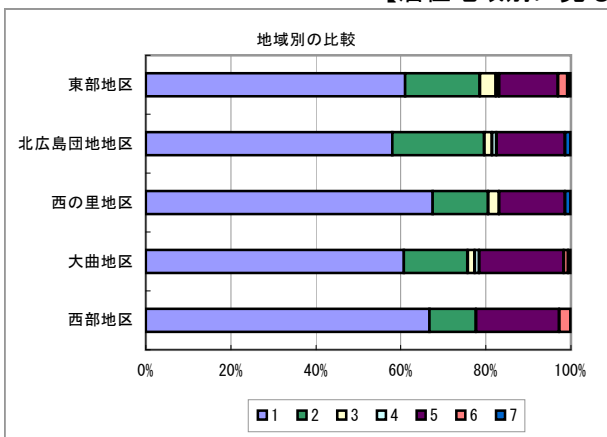
前回のアンケートと同様に「普通ごみとして出している」という回答が最も多く、次いで「生ごみ堆肥化容器を利用している」が多い結果となった。「畑で堆肥化を行っている」が前回アンケートより6.1ポイントも多くなっている。

【年代別に見る生ごみの処理】



年代別に見ると、40歳代以下の80%以上が「普通ごみとして出している」との回答ですが、50歳代以上になると「普通ごみとして出している」の回答が減り、「生ごみ堆肥化容器を利用している」「畑で堆肥化を行っている」の回答が多くなっています。

【居住地域別に見る生ごみの処理】



地域別に見ると、各地域とも「普通ごみとして出している」との回答が約60%を占めています。「生ごみ堆肥化容器を利用している」との回答は北広島団地地区（21.7%）と東部地区（17.6%）が高く、「畑で堆肥化を行っている」との回答は大曲地区（19.9%）と西部地区（19.4%）が高い結果となっています。

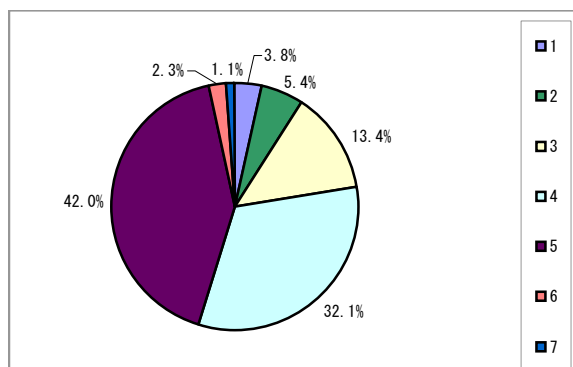
【問6】 あなたが利用しているごみステーションはどこにありますか。  
1つだけ選んでください。

No.	回答項目	回答数	割合
1	自宅のすぐ前	21	3.8%
2	自宅の向かい	30	5.4%
3	自宅（アパート、マンション）の敷地内	75	13.4%
4	自宅そば（1～3軒となり）	180	32.1%
5	自宅から離れたところ（4軒以上離れている）	235	42.0%
6	その他	13	2.3%
7	無回答	6	1.1%
合計		560	100.0%

ごみステーションの位置については、「自宅から離れたところ（4軒以上離れている）」が最も多く、次いで「自宅そば（1～3軒となり）」「自宅（アパート、マンション）の敷地内」となっています。

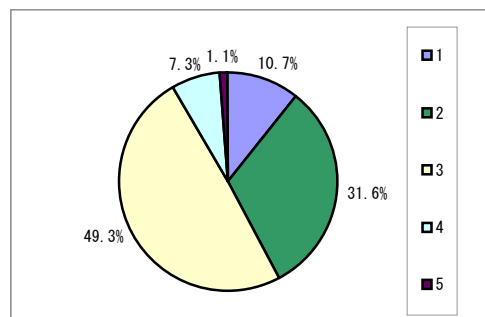
なお、平成20年度末のごみステーション数は963カ所であり、11月末現在の世帯数は25,767世帯ですので、約27世帯が1カ所のごみステーションを利用していることとなります。また、家の前にごみステーションがある割合は約3.7%であり、「自宅のすぐ前」の回答とほぼ同じ割合となっています。

その他としては、「輪番制」などがありました。



【問7】 あなたが利用しているごみステーションはどのような形態ですか。  
1つだけ選んでください。

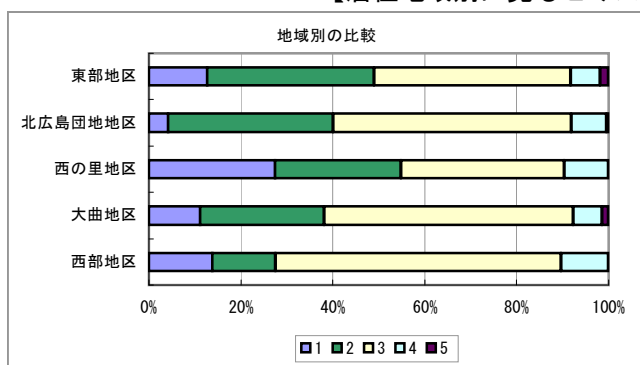
No.	回答項目	回答数	割合
1	ごみボックスのみ	60	10.7%
2	ごみネットのみ	177	31.6%
3	ごみボックスとごみネットの併用	276	49.3%
4	その他	41	7.3%
5	無回答	6	1.1%
合計		560	100.0%



ごみステーションの形態では、「ごみボックスとネットの併用」が最も多く、次に「ごみネットのみ」との回答結果となっています。

その他の意見としては、「古いコンテナ」「鉄製のカゴ」「ドア付のごみステーション」「二重ネット」「黄色いシートとネット」などがありました。

#### 【居住地域別に見るごみステーションの形態】

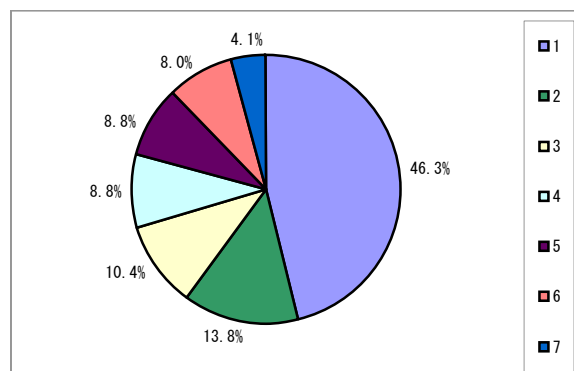


地域別の割合で見ると、「ごみボックスのみ」は西の里地区が最も多く、「ごみネットのみ」は東部地区と北広島団地地区が同じ割合で多く、「ごみボックスとネットの併用」は西部地区が最も多い結果となっています。

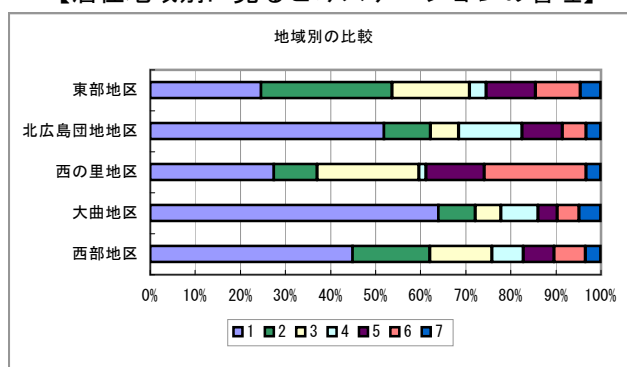
【問8】 ごみステーションの管理はどなたがされていますか。  
1つだけ選んでください。

No.	回答項目	回答数	割合
1	当番制で行っている	259	46.3%
2	町内会・自治会の役員が行っている	77	13.8%
3	ごみステーションの近所の方が行っている	58	10.4%
4	マンション・アパートの管理者が行っている	49	8.8%
5	誰も管理していない	49	8.8%
6	その他	45	8.0%
7	無回答	23	4.1%
合計		560	100.0%

ごみステーションの管理については、「当番制で行っている」が最も多い結果となっています。  
その他としては、「気がついた人が掃除している」「分からない」などでありました。



#### 【居住地域別に見るごみステーションの管理】

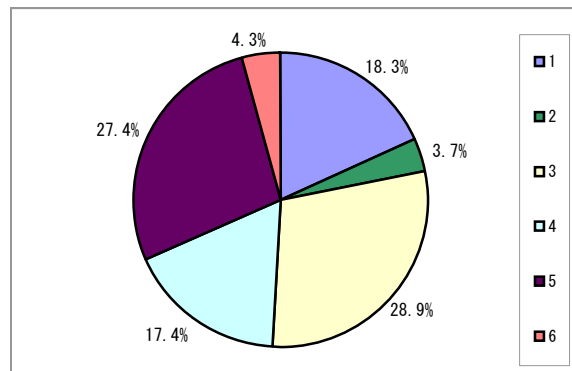


地域別に最も多い回答を見ると、東部地区では「町内会・自治会も役員が行っている」、北広島団地地区・西の里地区・大曲地区・西部地区では「当番制で行っている」となっています。

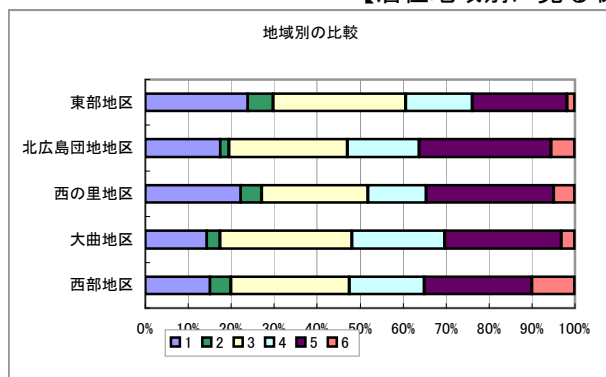
【問9】 現在のごみステーション方式の収集についてどう思いますか。  
2つだけ選んでください。

No.	回答項目	回答数	割合
1	ごみが散乱して不衛生である	142	18.3%
2	臭いが気になる	29	3.7%
3	ルールを守らないごみが多い	224	28.9%
4	地域外の人がごみを捨てていく	135	17.4%
5	特に不便はない	212	27.4%
6	その他	33	4.3%
合計		775	100.0%

現在のごみステーション方式の収集については、「ルールを守らないごみが多い」が最も多い結果となり、「特に不便はない」が2番目に多い結果となっています。

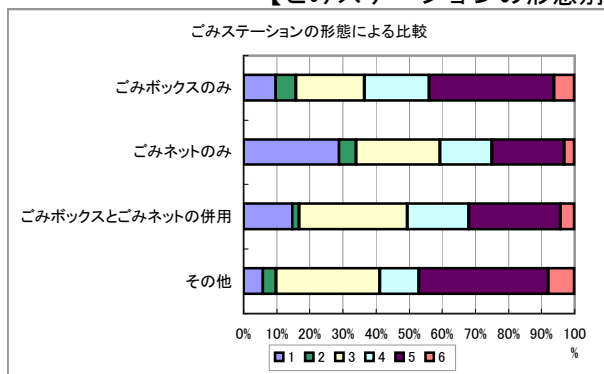


【居住地域別に見る収集方法について】



地域別に見ると、東部地区・大曲地区・西部地区では「ルールを守らないごみが多い」、北広島団地地区・西の里地区では「特に不便はない」が最も多い結果となっています。

【ごみステーションの形態別にみる収集方法について】

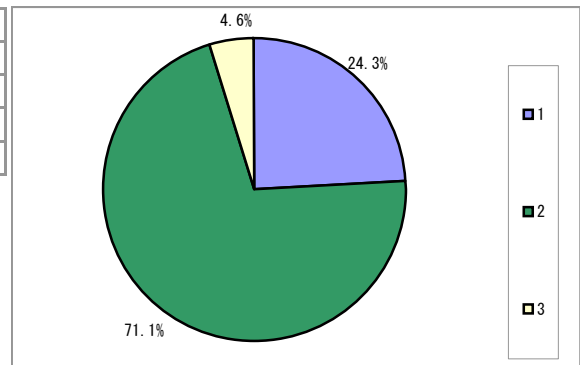


ごみステーションの形態別に最も多い割合を見ると、「ごみボックスのみ」では「特に不便がない(37.8%)」、「ごみネットのみ」では「ごみが散乱して不衛生である(28.9%)」、「ごみボックスとごみネットの併用」では「ルール守らないごみが多い(32.7%)」、「その他」では「特に不便はない(39.2%)」となっています。

【問10】

北広島市では、最終処分所に埋め立てるごみを少しでも減らすために、ご家庭から出る「生ごみ」の中間処理（バイオガス化処理）を平成23年度から実施します。「生ごみ」を別処理するには市民の皆さんに「生ごみ」を分別していただく必要があります。この生ごみの分別、中間処理についてご存知でしたか。

No.	回答項目	回答数	割合
1	知っている	136	24.3%
2	知らなかった	398	71.1%
3	無回答	26	4.6%
合計		560	100.0%

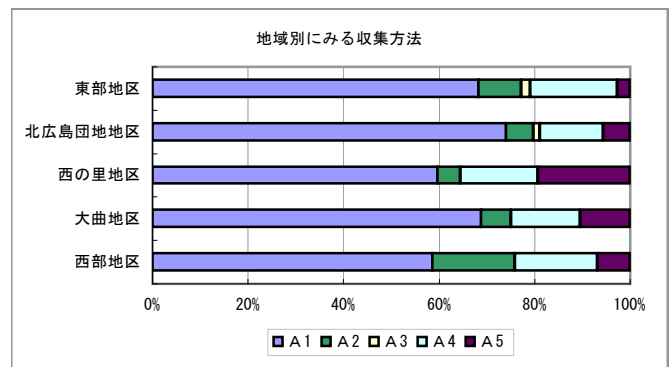
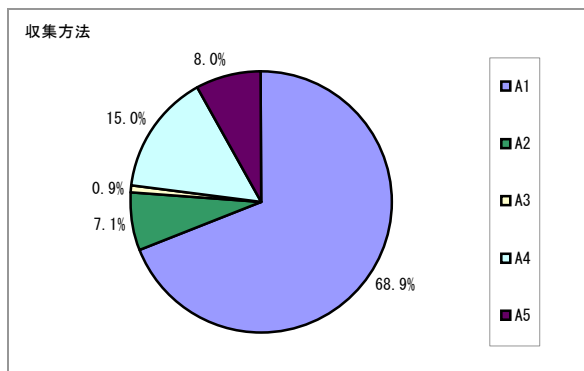


【問11】

市では生ごみの分別収集に伴い戸別収集についても検討を行っています。ごみの収集方法についてどう思いますか。「生ごみ」と「生ごみ以外のごみ」についてお聞きします。

● 生ごみ（収集方法）

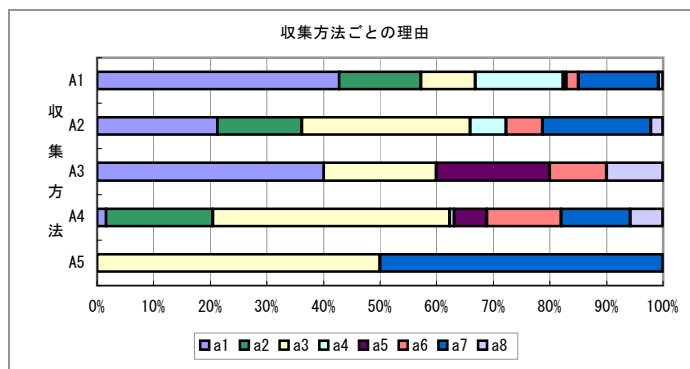
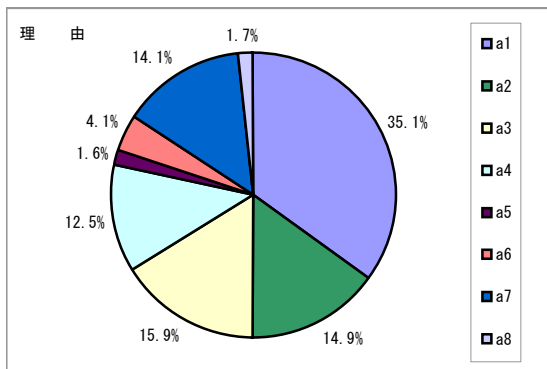
No.	回答項目	回答数	割合
A1	ごみステーション収集のままでよい	386	68.9%
A2	ごみステーションの数を増やして、1ヶ所あたりの利用世帯数を少なくしたほうが良い	40	7.1%
A3	ごみステーションの数を減らして、1ヶ所あたりの利用世帯数を増やしたほうが良い	5	0.9%
A4	玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）	84	15.0%
A5	無回答	45	8.0%
合計		560	100.0%



生ごみの収集方法について地域別に見ると、東部地区では「ごみステーション収集のままでよい」が70.1%、「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が18.7%となっています。北広島団地地区では「ごみステーション収集のままでよい」が78.5%、「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が14%となっています。西の里地区では「ごみステーション収集のままでよい」が74%、「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が20%となっています。大曲地区では「ごみステーション収集のままでよい」が76.7%、「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が16.3%となっています。西部地区では「ごみステーション収集のままでよい」が63%、「ごみステーションの数を増やして、1ヶ所あたりの利用世帯数を少なくしたほうが良い」「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が18.7%となっています。

● 生ごみ（理由）

No.	回答項目	回答数	割合
a1	収集経費を抑えることができるから	282	35.1%
a2	ごみを出すのに便利だから	120	14.9%
a3	ごみ出しルールを守るようになるから	128	15.9%
a4	家の前にごみを置きたくないから	100	12.5%
a5	ごみステーションのそばだと不公平だから	13	1.6%
a6	ごみステーションの管理が大変だから	33	4.1%
a7	カラスなどに荒らされるから	113	14.1%
a8	その他	14	1.7%
合計		803	100.0%



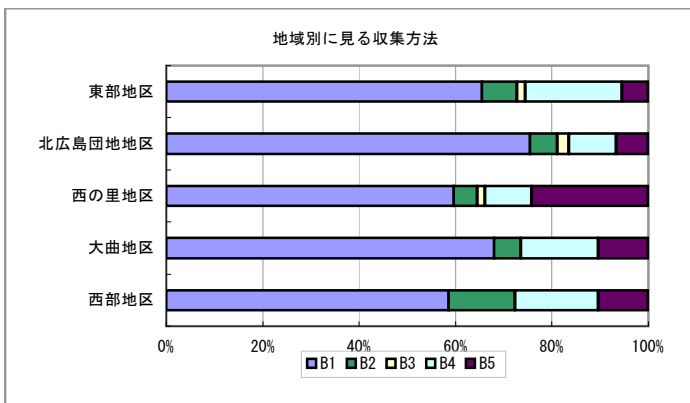
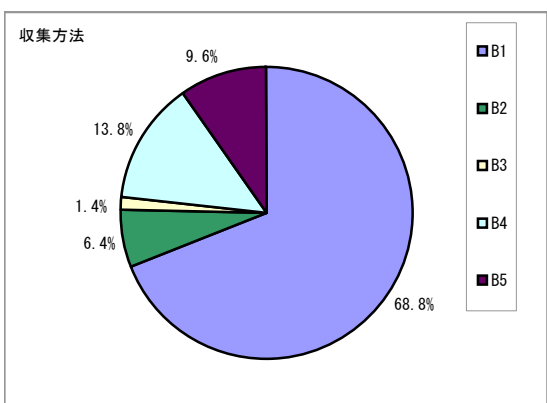
収集方法の68.9%を占める「ごみステーション収集のままでよい」を選んだ理由としては「収集経費を抑えることができるから」が最も多く、次いで「ごみ出しルールを守るようになるから」となっています。

収集方法ごとの理由を見てみると、「ごみステーション収集のままでよい」と「ごみステーションの数を減らして、1ヶ所あたりの利用世帯数を増やしたほうが良い」では「収集経費を抑えることができるから」が最も多い結果となり、「ごみステーションの数を増やして、1ヶ所あたりの利用世帯数を少なくしたほうが良い」と「玄関前からの収集がよい」では「ごみ出しルールを守るようになるから」が最も多い結果となっています。

理由の「その他」としては、「戸別収集だと冬の積雪のあるときには、手間がかかって業者が大変だと思う」「戸別収集だと個人の差が出て汚いところが目につくと思うし、汚さないためにそれぞれがいろんな物を置いたりして見た目も汚くなると思う」「カラスなどに荒らされても、個人の管理になるので良いと思います」などでした。

● 生ごみ以外のごみ（収集方法）

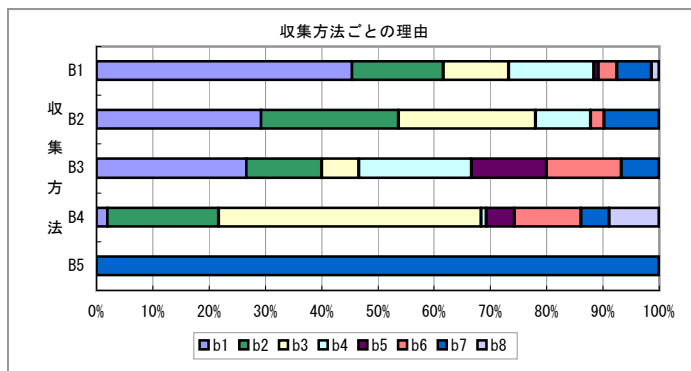
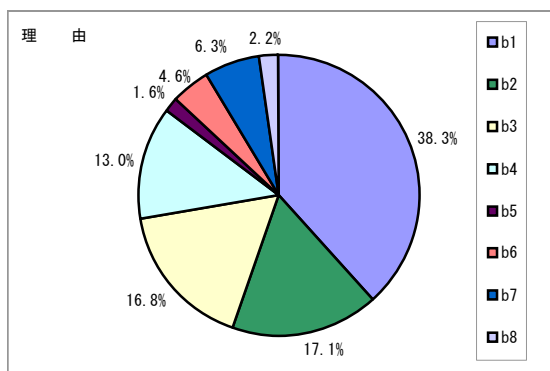
No.	回答項目	回答数	割合
B1	ごみステーション収集のままでよい	385	68.8%
B2	ごみステーションの数を増やして、1ヶ所あたりの利用世帯数を少なくしたほうが良い	36	6.4%
B3	ごみステーションの数を減らして、1ヶ所あたりの利用世帯数を増やしたほうが良い	8	1.4%
B4	玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）	77	13.8%
B5	無回答	54	9.6%
合計		560	100.0%



生ごみ以外の収集方法について地域別に見ると、東部地区では「ごみステーション収集のままでよい」が69.2%、「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が21.2%となっています。北広島団地地区では「ごみステーション収集のままでよい」が80.8%、「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が10.6%となっています。西の里地区では「ごみステーション収集のままでよい」が78.7%、「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が12.8%となっています。大曲地区では「ごみステーション収集のままでよい」が76%、「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が17.8%となっています。西部地区では「ごみステーション収集のままでよい」が65.4%、「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が19.2%となっています。

● 生ごみ以外のごみ（上記の理由）

No.	回答項目	回答数	割合
b1	収集経費を抑えることができるから	291	38.3%
b2	ごみを出すのに便利だから	130	17.1%
b3	ごみ出しルールを守るようになるから	128	16.8%
b4	家の前にごみを置きたくないから	99	13.0%
b5	ごみステーションのそばだと不公平だから	12	1.6%
b6	ごみステーションの管理が大変だから	35	4.6%
b7	カラスなどに荒らされるから	48	6.3%
b8	その他	17	2.2%
合計		760	100.0%



収集方法で68.8%を占める「ごみステーション収集のままでよい」を選んだ理由としては「収集経費を抑えることができるから」が最も多く、次いで「ごみを出すのに便利だから」となった。収集方法ごとの理由を見てみると、「ごみステーション収集のままでよい」「ごみステーションの数を増やして、1ヶ所あたりの利用世帯数を少なくしたほうが良い」「ごみステーションの数を減らして、1ヶ所あたりの利用世帯数を増やしたほうが良い」では「収集経費を抑えることができるから」が最も多い結果となった。「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」では「ごみ出しルールを守るようになるから」が最も多い結果となった。理由の「その他」としては、「石狩も戸別にしましたが、ごみの袋有料化のみでほかに問題もなく便利であったので」「プラスチック、缶やペットのごみの量は出やすい。そのためにごみステーションから溢れ出ている。数を増やすのも管理も大変になる」などであった。

【問 1 2】 分別品目及び収集回数は当市より少ないですが、戸別収集を実施している近隣としては2億8千万円から2億9千万円の費用がかかっています。当市では戸別収集を行う際にもそれに近い費用がかかるとは思います。費用負担についてどう思いますか。

No.	回答項目	回答数	割合
1	個人負担（ごみ処理手数料の値上げ）が増えても戸別収集すべき	10	1.8%
2	戸別収集になるなら個人負担（ごみ処理手数料の値上げ）も止むを得ない	41	7.3%
3	戸別収集にかかる経費は市（税金）で負担すべき	30	5.4%
4	収集回数を減らすなど経費を抑えて戸別収集にすべき	35	6.3%
5	ごみ収集に係る経費が今以上にかかるのであればごみステーション収集でよい	389	69.5%
6	その他	8	1.4%
7	無回答	47	8.4%
合計		560	100.0%

収集費用の負担については、69.5%が「ごみ収集に係る経費が今以上にかかるのであればごみステーション収集でよい」との回答であった。1～4の戸別収集は20.8%の回答でした。その他としては、「戸別収集は必要ない」「現在はステーション収集でよいが将来は個人負担、戸別収集」「今の不況下では現状維持で」などでした。

